

## 個人情報保護委員会（第16回）議事概要

- 1 日時：平成28年8月25日（木）11:00～12:00
- 2 場所：個人情報保護委員会 委員会室
- 3 出席者：堀部委員長、阿部委員、嶋田委員、熊澤委員、丹野委員  
其田事務局長、福浦総務課長、山本参事官、坂巻参事官、  
小川参事官

### 4 議事の概要

#### (1) 議題1：個人情報保護法質問ダイヤルに寄せられる質問及び回答例の委員会ホームページ上での公表について

事務局から、資料に基づき説明を行った。

丹野委員より「一定数の相談が寄せられて蓄積されている。電話をしてこない方々も同種の質問をお持ちだと推測されるので、よくある質問と回答について、まとめてホームページで公表することは国民にとって非常に有意義」という旨の発言が、また熊澤委員より「構成を事業者向けと個人向けに分ける形はとても良いと思う。個人向けに関しては法律的知識がなくても分かりやすい表現を心がけてほしい。また、内容を随時見直すなど、より良いものに改善して行ってほしい」という旨の発言があった。

さらに、阿部委員より「ガイドラインQAとの関係はどうなるのか」という旨の発言があり、これに対し事務局から「今後検討されるガイドラインに関するQAとは別に、基本的な質問に答えるのが今回のQAであるが、ガイドラインに関するQAを作成する際に、改めて中身を検討したい」という旨述べた。

本方針に基づき作業を進めることとなった。

#### (2) 議題2：米国との連携強化に向けた取組について

事務局から、資料に基づき説明を行った。

熊澤委員から、「円滑なデータの流通という点については、事業者も関心が高く、日米・日EU間で相互のデータ流通が担保されるように対話を進めていく必要がある。先日当委員会で決定した「個人データの円滑な国際的流通の確保のための取組について」に基づいて米国との第一歩をこうして踏み出したことは喜ばしい。今後も対話の回数を重ね、内容を具体化して行ってほしい」という旨の発言が、また堀部委員長から、「英国のEU離脱については、今後の情報収集が重要。今後とも米国やEUを含め諸外国との連携が必要であり、様々な場で日本のプレゼンスを高める努力が必要である」という旨の発言があった。

(3) 議題3：議事録の公開について

事務局から、委員会の議事録について、「委員会の議論の内容について、各方面から関心を寄せられていることから、個別案件の立入検査等、業務に支障がある内容を除いて、準備が整い次第議事録をホームページに掲載したい」という旨の説明を行った。

嶋田委員から「公開に適さないものを除いて、原則公開として透明性を確保することは信頼性の点からも重要である」という旨の発言が、阿部委員から「議事録はもともと公開が原則であり、事務局の体制も整ってきたことから、発言した委員の名前も含めて開示できる部分はあらかじめ公開しておく必要がある」という旨の発言が、堀部委員長から「議論の内容についてアクセスが容易になることは国民の利益にかなうことである」という旨の発言があった。

事務局において議事録公開のための手続を進めることとなった。

以上